

# CHIT CHAT RADIO 子育てCHAT ROOM

2020年8月18日 13時23分～13時50分



子どもたちからのメッセージ…きょうだいげんかは親への抗議？

ー 前は、リスナーの方からいただいたお悩みのメールについてお答えいただきましたが、今回もリスナーの方からお悩みメールが届いておりますので、先生にいろいろ教えていただきたいと思います。ではまず亀谷さんからメッセージのご紹介をお願いします。

ー 今日はい通のご相談の紹介をさせていただきます。まず、一通目です。坂出市にお住いの泰子さん(仮名)です。

うちの子供たちは、三人姉弟なのですが、ケンカが絶えません。女の子が二人で男の子が一人です。長女(十一歳)は、小さいころから活発で、男の子ともよく遊ぶような子でした。次女(九歳)は、それを見て育ったからか、大人しくて聞き分けの良い子で、長男(六歳)は、両方を見て育ったので、バランスよく育ったように思います。ケンカの最中間「こえてくるのは、姉ちゃん(長女)は、我が儘言っても許されずぎー」とか「〇〇(次女)は、いい子ぶって、パパもママも〇〇には甘いー」とか…。長男に対しては、「男の子で末っ子だからって、パパとママを独り占めしてるー」

私も夫も一人っ子だったので、姉弟の気持ちも十分わかってやれず、どうしたのかと悩んでいます。できるだけみんな公平に…とは思っているんですが、叱る時なんかはつい「お姉ちゃんだから」とか「〇〇ちゃんはそののに…」と長女に厳しいかも…とか、次女にはあんまり構ってやれてないかも…と考えています。ママ友からも、同じような話を聞くんですが、子どもたち(姉弟)にはどのように接していくよう、心がければいいでしょうか。

ー もう一方は、高松市にお住いのラジオネーム、りいとなあママさんからです。

二人姉妹の母親です。六歳の長女と四歳の次女です。良いことをして、褒めてあげようと思うんですが、長女は素直に褒めてやれるのに、次女を褒めようと思うと、少し言葉に詰まってしまうたり…。同じようなことをしても、次女がやると、素直に褒めてやるのができません。可愛くないとまではいいませんが、何でかさうなっています。私がいけないんでしょうか？…自己嫌悪になっってしまうこともしばしばあります。

ー ああ、子育てには悩みがつきものと言いますが、お母さん、悩んでいらっしゃるんですね。鈴木先生、いかがでしょうか？

私、これを聞いてすごく胸が痛くなりましたよ。私も子どもが三人いて女の子が二人、男の子が一人という構成なんですけど、まさにけんかが絶えなかったので、自分を重ねるよう  
に相談を聞いておりました。

— 兄弟姉妹だとしていい比較してしまいがちですよね。比較っていうのは、やはりよくない事なんじゃないでしょうか？

そうですね、比較はよくないです。子育てが初めてだと、一番目の子を基準にして二番目三番目がよりできる、よりできないとか、成長とか発達について評価しがちですよね。二番目の方がよくできる、お姉ちゃんなのに何でこんなのもできないの？と思うったり。そうすることで、できる子は褒められるから、できない他の子をバカにしたりしてしまったりもありません。できない子は叱られてばかりでいじめちゃったりもいるし、そのうっ憤を下の弟や妹をいじめるところで晴らしたり、家でできないければ学校で弱い者いじめしてしまったりストレス発散します。比較は子どもの心の発達には良い影響がないなと思っています。

ただ、比較しないと評価ができないですよね。その時はその子自身の過去と比較して、一年前、半年前、一カ月前よりできるようになったこと、わかるようになったことが増えていることがもちろん多いわけですから、そこに注目するといえますね。ですから、お姉ちゃんもこないところがあるし、弟もこないところがある、それぞれいいところを見つけてあげるのが大事かなと思います。比較していいことってないですよね。

— 確かに。

でも、比較してしまうのはわかります。私も子ども達にしてみましたし、いろいろ思いを寄せてきたかなと思うので。

— 11の背景としてこの相談していただいた方自身も主人さまも一人の子であるの、自分が子どもの頃の経験がない分、悩んでしまっているところも深刻に伝えていってあげてほしいですね。

自分が経験してないことは想像してしまいたいし、わからないですよね。みんながよくわからななおじいちゃんおばあちゃんも一人しか育てていないからわからないですよね。みんながよくわからななおじいちゃんおばあちゃんも一人しか育てていないからわからないですよね。

まず、喧嘩が悪くいわけじゃないことを伝えたいです。争うってなかなか学校でいじめたりもありません。喧嘩が悪いわけじゃないことを伝えるには、最後には自分の気持ちをぐんぐん収めるかを学ばせてあげたいです。また、自分がすっきりするまで叩いたり悪口を言ったりして相手を傷つ



「これね、私も子ども達にも言われていたからすごく胸が痛いんですけど、これがどういう意味かということが、その時によくわかってなかったです。以前話したと思うのですが、子どもの土台作りで、「愛してほしい、見てほしい、認めてほしい」というのがあるんですね。親に「好きだ」と言ってほしい、優しい声で話してほしい、抱きしめてほしいという気持ちを持っていたり、自分の方を見て話を聞いてほしい、比較せずにあなたのことが好きと認めてほしい、わかってほしいというこの三つを私(子ども)にもしっかりとってほしいと思っていますね。

普段からできればいいのですが、きょうだいが喧嘩してしまったときに、親が「そういう意味じゃない」とか親の主張や気持ちを分かってもらいたいというのはあると思うんですね。ですが、親の主張を分かってもらおうというのは二の次です。誰が悪いとかジャッジする必要もありません。ただ、一人一人の子どもの声に耳を傾ける。どうしてそう言ったのか、どんな風に感じたのか具体的に一人一人間く場を設けたらそれだけで満足するんですね。子どもが不満に思うような態度を親がとっていたら、「ごめんね」と謝り、「これからは気を付けるようにすればいいと思います」。

— なるほどですね。お子さんひとりひとりと向き合う時間というのを持たないとダメなんですね。

私もそうだったのですが、三人いると時間がなくて大変なのはわかります。ですから、一日一分でもいいから一人一人と目を見て話してほしいです。それから、私の経験上一番気を付けてほしいのが「二番目の子ですね」。

— 九歳の女の子ですね。

はい、おどろしく聞いて聞き分けの良い子が要注意だと思っています。反対に、親に対して悪いことを言ったり問題になることをする子ってまだいいんですね。親が何でもこなすのをするんだろって注目しますから。でもいい子はいつも大丈夫だろうって見てもうえないんですね。だげど本当は一番寂しかったり、言いたいことを我慢していたりして辛いんです。「こうい子ほど話や気持ちを聞いてあげてほしいと思います」。

— ほんとうにそうですよね。一いつ一丁寧に接して本当はどのうなのか聞いてあげるだけでもちゃんと見てくれているって安心がそこに生まれますよね。でも、兄弟が三人いたりするとそれぞれ公平にというのはなかなか難しいと思います。「通目に紹介しました六歳の長女と四歳の次女をお持ちのお母さんなのですが、お姉ちゃんに関しては素直に褒めてあげられるんですけど、次女の方はちょっと言葉に詰まってしまうという話は、私もママ友と話していてよく聞くんです。なんでなんだろって親がしつこい悩んでしまっているんですが」。

そうですね。複数子どもがいると一人はかわいいと無条件に思えるのですが、もう一人の

子はイライラするということは親子でもあるんです。親子でも人間なので相性があるんですね。だから、感情の差があるのは当然なので、この子とはあまり気が合わないとか、すごく自分とは違うな、でも別の子はそこにいるだけでかわいいと自分は感じていてと認めてしまうのが良いです。

子どもは親に可愛がられたいと思っっているし、お母さんはお姉ちゃんの方が好きなんだと四歳にもなればわかっていると思います。それを辛いけど言葉にできない子の方も多いので、この場合ですが親が次女を長女の三倍抱きしめたり、三倍「かわいい」と言葉に出してあげるというと思います。多分どっちも抱きしめていると思うのですが、三倍やっっちゃうどいいくらいだと思います。自分の気持ちを自覚したら、こっちには足りないんだとわかるじゃないですか。長女に寝る前に一回抱きしめるなら、次女には朝昼晩と処方箋のように抱きしめるのが大事だと思います。

あと「かわいい」と言葉に出していたら、本当にかわいいと自分が暗示にかかってきます。そして、かわいいと言われた子どもはかわいく振舞います。かわいいと言われると嬉しくなっただけで、かわいい笑顔を見せてくれるものです。私も実はやっていました。三人それぞれ気持ちに差があつて苦しかったのですが、多くのお母さんもお父さんもみんなそうですから。

—特にこの相談者さんは、女の子の姉妹二人でお母さんなので「これは難しいだろうなと僕は思いますね。

女同士だから実は余計難しいだろうなと思います。女の子はいろいろ察するんですよ。男の人は察しませんよね。

—すいません(笑)。でもそれが楽なんです(笑)。

脳の構造が違うから、女の子の方がものを察するんです。だから四歳でも感じていると思います。それが積み重なると、自分は愛される価値がない人間だと自信がなくなったり、不安になったり、不満を他の弱い子をいじめて解消したりします。その子のパーソナリティによりますが、でも、子どもが分からないうちにすればいいので三倍やっっちゃえばいいと思います。

—おなげかしてへんわねのは、気いじくかもしれません(笑)が、お母さんはそれでもお姉ちゃんよりも私にたくさん愛情を注いごいねわね(笑)と、思いついて、これは気持ちの安定に繋がりますよね。

そうですね。四歳の子は心の中を、ちやみと自分はって思うかもしれません(笑)が、だから私はこの子のために三倍抱きしめるんだと決めてやれば、いいと思います(笑)。気にす(笑)と、ない(笑)と思つます。

—私も真つ最中で胸が痛いんです。今朝、下の三歳の子があまりにも言ったことを守らなかつたりやらなかつたりで、今反抗期なんです。なので、ついつい厳しいことを言っただけで自己嫌悪に陥りながら出勤しました。そういう状況だったのでなんか同性同士って言い過ぎちゃうな、三歳の子になんであんなに言っただけで思いました。上の子はお兄ちゃんなんですけどそんな言わず、「めんね、ママ」って言われると、「すべ」「いいよ」「と言っただけです。でも下の子は「めんね」とか言わずに「うー」とするんです。それにまた怒りがわいてきちゃいます。でも後で言い過ぎたなと反省する繰り返しで、なかなか母として成長できないというところにもどかしさを感じております。

意地になってしまおうのさしようね。小むくても女なんですよ。

—本場にそつです。三歳でも女です。ですから先生が言うように態度で示す、とにかく抱きしめる、言葉に敢えてだしてほめることが大事なんだと思います。

そつですね。私は長女から「妹と弟とは楽しそうにしゃべってる、自分には眉間にしわ寄せてる」とはつきり言われたことがあるのですが、確かにそうだったなと思います。その時は「眉間にしわを寄せさせるようなあなたが問題」と思っていたんですね。だから、そんなにちゃんと言ってくれたのに自分を顧みなくって、今もすごく悪かったなと思います。積もった思いをやっと言ってくれたのじ。

—先生でもめるんですね。僕もいろいろな方から聞きますが兄弟が複数いて平等に接してもらっていると思っっている子は皆無です。だから先生心配しないでいいですよ。なんか僕が先生みたいになってますね(笑)。

本当ですね(笑)。まあ、とにかく三人一遍にはなく、一人一人の時間をもつことを大切にしたらいいと思います。

—一人一人の目を見てちゃんと話す。愛情は目、つまりeyeを見て伝えよう、ということですね！

ラジオのお話しできませんでしたが、長女が十八歳で家を出た時に本棚に挟んであった私への手紙を見つけました。そこには自分だけ愛されていなかったと感じて辛かったことが切々と書いてありました。それから、電話で話す時はネガティブなことを一切言わないようにし、褒めたり励ますようにしました。帰省した時は二人で旅行したり、一緒の布団で寝たり、お風呂に入った。娘は徐々に明るくなり、積極的に様々な活動に参加し、語学検定を受けたり留学したり。「子どもは親から認められて初めてやる気になる」ということを身をもって体験しました。